

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年4月8日(2022.4.8)

【公開番号】特開2020-31949(P2020-31949A)

【公開日】令和2年3月5日(2020.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2020-009

【出願番号】特願2018-162196(P2018-162196)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 334

A 63 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月31日(2022.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機の外形を構成する枠手段と、

所定の条件成立に基づき抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段による抽選にて特定の結果が得られた場合に利益を付与する利益付与手段と

前記抽選手段の抽選結果に基づき所定の表示手段を用いて演出を行う演出実行手段と、

前記枠手段に設けられ、前記抽選の結果に基づき通常状態から特別動作状態へと動作可能な可動装飾手段と、を備え、

前記演出実行手段は、

前記所定の表示手段において前記可動装飾手段を模した模擬画像を用いた動的表示を表示可能であり、該動的表示を表示した後に前記可動装飾手段が動作する特別可動演出を実行可能であり、

前記特別可動演出では、前記抽選手段による抽選が前記特定の結果であることに基づいて、遊技者操作の受付に応じて前記可動装飾手段が特別発光態様とされ、遊技者操作の受付に応じて前記特別発光態様とされているときに前記可動装飾手段が前記特別動作状態にあり、前記可動装飾手段の動作制御が開始された時点でも前記動的表示に用いられた前記模擬画像は前記所定の表示手段において非表示とされずに表示された状態にあり、

前記可動装飾手段を模した模擬画像を用いた前記動的表示は、前記可動装飾手段が前記特別動作状態へ動作する前に、複数回繰り返す周期的な動的表示として表示可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

近年、装飾形態を形成可能な可動部材を遊技機枠に設けた遊技機が知られている(例えば、特許文献1)

40

50

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2016-093655号公報

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

10

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【0004】

このような遊技機においては、遊技機枠に設けた可動部材による興趣を遊技者が十分に感じることができない場合があるという課題があった。

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

20

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【0005】

本発明は、興趣の低下を抑制可能な遊技機を提供することを目的とする。

## 【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

30

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【0006】

[手段1]に係る遊技機は、遊技機の外形を構成する枠手段と、所定の条件成立に基づき抽選を行う抽選手段と、前記抽選手段による抽選にて特定の結果が得られた場合に利益を付与する利益付与手段と前記抽選手段の抽選結果に基づき所定の表示手段を用いて演出を行う演出実行手段と、前記枠手段に設けられ、前記抽選の結果に基づき通常状態から特別動作状態へと動作可能な可動装飾手段と、を備え、前記演出実行手段は、前記所定の表示手段において前記可動装飾手段を模した模擬画像を用いた動的表示を表示可能であり、該動的表示を表示した後に前記可動装飾手段が動作する特別可動演出を実行可能であり、

40

前記特別可動演出では、前記抽選手段による抽選が前記特定の結果であることを基づいて、遊技者操作の受付に応じて前記可動装飾手段が特別発光態様とされ、遊技者操作の受付に応じて前記特別発光態様とされているときに前記可動装飾手段が前記特別動作状態にあり、前記可動装飾手段の動作制御が開始された時点でも前記動的表示に用いられた前記模擬画像は前記所定の表示手段において非表示とされずに表示された状態にあり、前記可動装飾手段を模した模擬画像を用いた前記動的表示は、前記可動装飾手段が前記特別動作状態へ動作する前に、複数回繰り返す周期的な動的表示として表示可能であることを特徴とする遊技機である。

## 【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、興趣の低下を抑制可能な遊技機を提供することができる。

10

20

30

40

50